

令和4年12月12日	資料2
第10回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会	

第2回介護DBオープンデータについて（案）

厚生労働省老健局老人保健課

目次

1. 介護総合DBオープンデータ作成の背景と目的
2. 第1回介護総合DBオープンデータの内容
3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）
 1. 集計対象
 2. 公表形式と公表物
 3. 今後の方針
4. 今後のスケジュール

1. 介護保険総合DB（介護DB）オープンデータ作成の背景と目的

令和4年3月23日

第7回匿名介護情報等の提供に
関する専門委員会

資料2

1. 作成の背景

- ◆ 介護DBには、悉皆性が高い匿名介護レセプト情報及び認定調査項目等の詳細なデータである匿名要介護認定情報等が含まれており、介護等分野の研究開発を行ううえで有用である。平成28年12月に、介護保険部会において、データベースをより有効活用するため、NDBと同様に、公益性が高い利用目的の場合には第三者への提供を可能とすることが適当であるとされ、平成30年11月より、高いレベルのセキュリティ要件を課したうえで、データ提供を行ってきた。
- ◆ NDBにおいては、多くの人々がNDBデータに基づいた知見に接することができるよう、NDBデータから汎用性の高い基礎的な集計表を作成し、「NDBオープンデータ」として、これまでに6回公表している。
- ◆ 介護DBに関しては、介護サービスの提供実態に係るデータについては介護給付費等実態統計としてe-Stat等で公表されているものの、要介護認定の結果等に係るデータは公表されておらず、NDBと同様、オープンデータとして公表する意義は大きい。

2. 作成の目的

- ◆ 多くの人々が介護DBデータに基づいた知見に接することが出来るよう、介護DBデータを用いて、「介護給付費等実態統計では公表されていない内容」という観点で基礎的な集計表を作成したうえで、公表する。
- ◆ 介護DBデータに基づき、介護サービスの提供実態や要介護認定情報等のデータをわかりやすく示す。

3. 今後の予定

- ◆ 第1回のオープンデータを公表後、1年に1回程度を目安に集計表を拡充して公表する。

2. 第1回介護総合DBオープンデータの内容

令和4年9月16日

第9回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会

資料1

1. 集計対象・項目等

◆ 公表データ:匿名要介護認定情報

①主要項目の集計結果

②匿名介護レセプト等情報との突合率

③前回と今回の二次判定結果とのクロス集計結果

◆それぞれの対象期間、公表項目、集計事項

	①主要項目の集計結果	②匿名介護レセプト等情報との突合率	③前回と今回の二次判定結果とのクロス集計結果
対象期間	2018年度、2019年度*		
公表項目	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な項目 (申請区分、一次判定結果、二次判定結果、基準時間 等) ・認定調査項目(74項目) ・障害高齢者自立度 ・認知症高齢者自立度 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当年度全体の突合率 (項目別の集計はしない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の申請区分 ・今回の二次判定結果 ・前回の二次判定結果
集計事項	延べ申請件数(延べ人数) 又は 申請者数(実人数) ※実人数は新規申請のみ実施	介護サービス利用者割合 (匿名介護レセプト等情報との突合率)	延べ申請件数(延べ人数) 及び 申請者数(実人数) ※実人数に区分変更等含む

*「②匿名介護レセプト等情報との突合率」については、匿名要介護認定情報に対して突合させる匿名介護レセプト等情報の範囲は、認定有効期間に含まれる範囲。匿名要介護認定情報のレコードごとに認定有効期間が異なる。

「③前回と今回の二次判定結果とのクロス集計結果」については、前回の匿名要介護認定情報の範囲は、介護DBに含まれるうち最も古い時点(2009年4月)から最新時点までの範囲。認定有効なレコードの中で、個人別・認定申請日別に並び替えた際に、集計対象の匿名要介護認定情報の1つ前のレコードを個人別に集計対象の個票に突合させる。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：集計対象

1. 集計対象・項目等

- ◆ 公表データ：①匿名LIFE情報 ②匿名要介護認定情報
- ◆ 匿名LIFE情報を公表する目的：
 - ・ 匿名LIFE情報の登録情報を明らかにする。
 - ・ 利用者の状態、ケアの内容に関する主なデータの入力状況を把握する。
- ◆ ①、②の対象期間、公表項目、集計事項

	①匿名LIFE情報	②匿名要介護認定情報
対象期間	2021年度 (時点の判定項目:「初回確定日」)	2020年度、2021年度 (時点の判定項目:「認定申請日」)
公表項目	<ul style="list-style-type: none"> ・LIFE関連加算ごとのサービス事業別算定状況 ・科学的介護推進体制加算に関連する項目のうち、基礎的な項目・主要項目(ADL、栄養、口腔衛生、認知機能等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度・2019年度と同様の項目 ・基礎的な項目、認定調査項目 ・障害高齢者自立度、認知症高齢者自立度 ・匿名介護レセプト情報との突合率 ・前回と今回との二次判定結果のクロス集計
集計事項	<ul style="list-style-type: none"> ・延べレコード数 ・実事業所数(サービス別・様式別) ・実利用者数(サービス別・様式別) ・平均内服薬数 (LIFEのフィードバック票の定義と統一) ・LIFE関連加算の算定率 (介護レセプト情報のみを用いて集計) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度・2019年度と同様の集計事項 ・延べ申請件数 または 実申請者数 ・介護サービス利用者割合 (匿名介護レセプト情報との突合率)

注) LIFEの公表項目は、LIFE関連加算で必須となっている項目から集計対象を選定予定。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：（参考）LIFE関連加算

- ◆ 施設系サービスと通所系・居宅系サービスでは加算の名称が異なるが、データ項目が同じ加算については同様の名称で集計を行う。

加算の種類	科学的介護推進加算 (Ⅰ)(Ⅱ)	個別機能訓練加算 (Ⅱ)	ADL維持等加算 (Ⅰ)(Ⅱ)	リハビリテーション マネジメント 計画書情報加算	リハビリテーション マネジメント加算 (A)ロ(B)ロ	理学療法、 作業療法 及び言語 聴覚療法 に係る加算	褥瘡マネジ メント加算 (Ⅰ)(Ⅱ)	褥瘡対 策指 導管 理 (Ⅱ)	排せつ支 援 加算 (Ⅰ)(Ⅱ) (Ⅲ)	自立支 援 促進加 算	かかりつけ 医連携薬 剤調整加 算	薬剤管 理指導	栄養マネジ メント強化加算	栄養アセス メント 加算	口腔衛 生 管理加 算 (Ⅱ)
収集している情報	ADL 栄養の状 況 認知症の 状況 既往歴 処方薬 等	機能訓練 の目標 プログラ ムの内容 等	ADL	ADL、IADL、心身の機能、 リハビリテーションの目標 等			褥瘡の危険因子 褥瘡の状態 等		排尿・排便 の状況 おむつ使用 の状況 等	ADL 支援実 績 等	薬剤変更情報 等		身長、体重、低栄養リ スク、 食事摂取量、必要栄養 量 等		口腔の状 態 ケアの目 標 ケアの記 録等
介護老人福祉施設	○	○	○				○		○	○			○		○
地域密着型介護老人福祉施設	○	○	○				○		○	○			○		○
介護老人保健施設	○			○			○		○	○	○		○		○
介護医療院	○					○		○	○	○		○	○		○
通所介護	○	○	○											○	○
地域密着型通所介護	○	○	○											○	○
認知症対応型通所介護(予防含む)	○	○	○(予防を除く)											○	○
特定施設入居者生活介護(予防含む)	○	○	○(予防を除く)												
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	○	○												
認知症対応型共同生活介護(予防を含む)	○														
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	○														
看護小規模多機能型居宅介護	○						○		○					○	○
通所リハビリテーション(予防含む)	○				○(予防を除く)									○	○
訪問リハビリテーション					○(予防を除く)										

注) サービスごとに算定可能な加算が異なる。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：公表形式と公表物

2. 公表形式

◆ 集計対象①～②について、集計表を作成し、公開する。

- ①の集計表（匿名LIFE情報）は、年度別に「都道府県別」、「性・年齢階級別」、「要介護度別」、「保険者別」及び「サービス種別」の集計を行う。ただし、保険者別は最小集計単位の観点から、一部の項目に限定する。薬品コードから利用者の服薬種類数を集計する。

集計事項一覧（匿名LIFE情報）（案）

明細 番号	集計対象の項目（表頭）	属性情報（表側）					集計事項
		表11	表12	表13	表14	表15	
		都道府 県	性・年 齢階級	要介護 度	保険者	サービ ス種類	
1	LIFE関連加算の種類別の登録状況	△	●	△	△	●	延べレコード数
2	LIFE関連加算の種類別の登録状況	△	-	-	△	●	実事業所数
3	LIFE関連加算の種類別の登録状況	△	●	△	△	●	実利用者数
4	LIFE関連加算の算定率	-	-	-	-	●	実事業所数，算定率
5	ADL(Barthel index)（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	実利用者数
6	栄養（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	実利用者数
7	口腔衛生（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	実利用者数
8	認知機能(DBD13)（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	実利用者数
9	意欲(Vitality index)（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	実利用者数
10	褥瘡・誤嚥性肺炎（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	実利用者数
11	事業所ごとの利用者1人あたりの内服薬の平均種類数の分布状況（科学的介護推進情報（服薬情報））	-	-	-	-	●	事業所別の利用者1人あたり内服薬の平均種類数の最小値，最大値，平均値，標準偏差

注) LIFEの要介護度は必須項目でない場合が多いため△としている。都道府県別や保険者別は件数が少ない懸念があり△としている。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：公表形式と公表物

2. 公表形式(続き)

- ②の集計表（匿名要介護認定情報）は、年度別に「都道府県別」、「性・年齢階級別」、「要介護度別」及び「保険者別」の集計を行う。ただし、保険者別は最小集計単位の観点から、一部の項目に限定する。

集計事項一覧（匿名要介護認定情報）

明細 番号	表頭	表側				集計事項
		表1	表2	表3	表4	
		都道府 県	性・年 齢階級	要介護 度	保険者	
1	申請区分（申請時）コード	●	●	●	●	延べ申請件数
2	現在の状況	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
3	一次判定結果	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
4	一次判定結果（認知症加算）	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
5	二次判定結果	●	●	-	●	実申請者数（新規申請）
6	要介護認定等基準時間（12区分）	●	●	●	-	実申請者数（新規申請），平均要介護認定等基準時間
7	主治医意見書	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
8	第1群 身体機能・起居動作	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
9	第2群 生活機能	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
10	第3群 認知機能	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
11	第4群 精神・行動障害	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
12	第5群 社会生活への適応	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
13	その他 過去14日間にうけた特別な医療	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
14	障害高齢者自立度	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
15	認知症高齢者自立度	●	●	●	-	実申請者数（新規申請）
16	匿名介護レセプト情報との突合率	●	●	●	-	介護サービス利用者割合（突合率）（新規申請）
17	今回の申請区分（申請時）コード；前回の二次判定結果	-	-	●	-	延べ申請件数
18	今回の申請区分（申請時）コード；前回の二次判定結果	-	-	●	-	実申請者数

3. 今後の対応の方向性

○匿名LIFE情報の集計仕様の検討

- 具体的な項目の選定
- 複数テーブルに類似項目が分かれている場合の集計方法の検討、等

○匿名要介護情報の集計仕様について

- 集計時点の追加（最新データの追加、2017年度以前の追加）
- 要介護度の変化（区分変更の集計追加、要介護度が上下する場合の考慮）
 - 二軸で集計するオープンデータにおいて、要介護度の短期変化を追うことが難しい。
 - 一定期間内の最初と最後の要介護度の変化を見ることが限界と考えられる。

○公表対象データの追加検討（匿名LIFE情報、匿名介護レセプト等情報）

○集計単位の検討

- 保険者別に集計するデータ項目を追加。
- 二次医療圏別の集計追加の検討。

4. 今後のスケジュール

以下のスケジュールで進める

○2023年3月 第11回専門委員会

- 第10回専門委員会でいただいたご意見を踏まえ、事務局より具体案を提示
- 再度ご意見をいただく

○2023年6月 第12回専門委員会

- 事務局より公表内容を提示

○2023年11月頃 第2回介護DBオープンデータ公表